

# 2級建築士 H30設計製図の課題に関する所見

## 【H30設計製図課題】

地域住民が交流できるカフェを併設する二世帯住宅（鉄筋コンクリート造(ラーメン構造)3階建て）

要求図書：1階平面図兼配置図、2階平面図、3階平面図、立面図、断面図、部分詳細図(断面)、面積表、主要構造部材表、計画の要点等

## 【H30課題の所見】

本課題から読み取れることは、「地域住民が交流できるカフェ」と「二世帯住宅」である(下記(1)、(2)参照)。更に、「鉄筋コンクリート造(ラーメン構造)3階建て」である(下記(3)参照)。

要求図書の留意点は、H27に指定された「鉄筋コンクリート造3階建て」と同じであるが、「部分詳細図(断面)」が新規に追加されている。また、「計画の要点等」の記述問題とその記述内容と図面との整合性は、合否に大きく影響するので、ある程度、記述問題を予測して、その記述と作図の解答を事前学習しておく必要がある。

### (1) 地域住民が交流できるカフェ

設計で求められる「地域住民が交流できるカフェ」とは、地域社会の中で人々が集まるための場＝カフェを設定するものと推定できる。カフェとは、コーヒーなどの飲料と軽食を提供する喫茶店と推定できる。つまり、地域住民が飲食をしながら憩いの場、交流の場として活用できるカフェである。

### (2) 二世帯住宅

二世帯とは、親、子の世帯のことである。二世帯住宅とは、親世帯と子世帯が住む住宅のことである。この二世帯住宅には、リビング(L)ダイニング(D)キッチン(K)の使い方により、次の3種類に分かれる。

- ①完全独立タイプ：親世帯と子世帯がLDKを別々にして住む方式
- ②部分共用タイプ：親世帯と子世帯がLを共用に、DKを別々にして住む方式
- ③共用タイプ：親世帯と子世帯がLDKを共用にして住む方式

### (3) 鉄筋コンクリート造(ラーメン構造)3階建て

H27と同じ鉄筋コンクリート造(ラーメン構造)3階建ての計画である。ラーメン構造であることから、柱・梁による構造体であり、平面計画は自由に計画できる。本建物は3階建てであり、カフェを地域住民が利用することから、1階がカフェとなる。その結果、2階と3階が二世帯住宅という階層別プランになる(下図参照)。

3階	二世帯住宅	E V ・ 階 段
2階	二世帯住宅	
1階	カフェ	

## 【研究会のH29解説概要】

研究会は、独学者も通学者も活用できる「80%以上ズバリ的中する予測課題」を提供する。資格学校では、通常、毎週異なるパターンの予測課題が示されて、毎週異なるパターンを作図学習することとなる。この学習法を否定するものではないが、結果的に「何が出題されるの?」という疑問を持つことになる(どれかの予測課題は当たるので資格学校としてのリスクもない)。研究会は、80%以上ズバリ的中を目指して、これが出題されるという「1点予測課題」を示し、その「解答図」を公開する。この提案は非常にリスクがあり、外れるとホームページの存在意義まで失いかねない。しかし、あえてリスクを承知の上、80%以上の的中を目指し、予測課題を取りまとめる。この最大の利点は、1点予測課題がH30試験問題と酷似した場合、短期学習で合格できる点にある。